

iPhone入門 & 使いこなしガイド

iPhone 6s/6s Plus
iPhone SE
iPhone 6/6 Plus対応

au

docomo

SoftBank

iPhone
使いこなせて
ますか?



iPhoneのここがわからない! iPhoneでこれがやりたい!
すべて解決します!!

LINE・Facebook・Twitter
を使いこなそう

iPhoneの文字入力を
完全マスター

上手な写真の撮り方と
編集の仕方を覚えよう

映像や電子書籍を
楽しもう

定番アプリを
徹底活用しよう

iPhoneシリーズ ラインアップ



iPhone 6s Plus



iPhone 6s



iPhone SE

カラー	シルバー/ゴールド/スペースグレイ/ローズゴールド		
容量(価格)	16GB:8万9800円、64GB:10万1800円、128GB:11万3800円	16GB:7万8800円、64GB:8万9800円、128GB:10万1800円	16GB:4万7800円、64GB:5万9800円
サイズ/重量	158.2×77.9×7.3mm / 192g	138.3×67.1×7.1mm / 143g	123.8×58.6×7.6mm / 113g
ディスプレイ/解像度/コントラスト	5.5インチ3D Touch搭載 Retina HDディスプレイ / 1920×1080ピクセル (401ppi) / 1300:1コントラスト比	4.7インチ3D Touch搭載 Retina HDディスプレイ / 1334×750ピクセル (326ppi) / 1400:1コントラスト比	4インチ Retinaディスプレイ / 1136×640ピクセル(326ppi) / 800:1コントラスト比
チップ	64ビットA9チップ / M9モーションコプロセッサ		
iSightカメラ(背面)	12メガピクセルiSightカメラ(1.22マイクロメートルのピクセルを使用)、Live Photos、f/2.2の開口部、サファイアクリスタル製レンズカバー、True Toneフラッシュ、裏面照射型センサー、5枚構成のレンズ、ハイブリッド赤外線フィルタ、露出コントロール、写真の自動HDR、顔検出、自動手ぶれ補正、バーストモード、タイマーモード、写真へのジオタグ添付、Focus Pixelsを使ったオートフォーカス、パノラマ(最大63メガピクセル)、強化されたローカルトーンマッピング、強化されたノイズリダクション		
	光学式手ぶれ補正	—	
ビデオ撮影	4Kビデオ撮影(3840×2160、30fps)、1080p HDビデオ撮影(30fpsまたは60fps)、True Toneフラッシュ、手ぶれ補正機能を使ったタイムラプスビデオ、3倍ズーム、再生ズーム、顔検出、ビデオへのジオタグ添付、4Kビデオの撮影中に8メガピクセルの静止画を撮影、1080p(120fps)および720p(240fps)のスローモーションビデオに対応、連続オートフォーカスビデオ、映画レベルの手ぶれ補正		
	ビデオの光学式手ぶれ補正	—	
フェイスタイムカメラ(前面)	5メガピクセルの写真、f/2.2の開口部、写真とビデオの自動HDR		1.2メガピクセルの写真、f/2.4の開口部、写真の自動HDR
	Retina Flash、720p HDビデオ撮影、裏面照射型センサー、露出コントロール、バーストモード、タイマーモード		
Touch ID	ホームボタンに内蔵された第2世代の指紋認証センサー		ホームボタンに内蔵された指紋認証センサー
携帯電話/ワイヤレス通信方式	GSM/EDGE、UMTS/HSPA+、DC-HSDPA、VoLTE、Bluetooth 4.2、NFC		
	CDMA EV-DO Rev. A、4G LTE-Advanced、MIMO対応802.11a/b/g/n/ac		CDMA EV-DO Rev. A、4G LTE、802.11a/b/g/n/ac
位置情報	GPSおよびGLONASS		



iPhone 6 Plus



iPhone 6

カラー	シルバー/スペースグレイ	
容量(価格)	16GB:7万8800円、64GB:8万9800円	16GB:6万7800円、64GB:7万8800円
サイズ/重量	158.1×77.8×7.1mm / 172g	138.1×67.0×6.9mm / 129g
ディスプレイ/解像度/コントラスト	5.5インチ Retina HDディスプレイ / 1920×1080ピクセル(401ppi) / 1300:1	4.7インチRetina HDディスプレイ / 1334×750ピクセル(326ppi) / 1400:1
チップ	64ビットA8チップ / M8モーションコプロセッサ	
iSightカメラ(背面)	8メガピクセルiSightカメラ(1.5マイクロメートルのピクセルを使用)、f/2.2の開口部、サファイアクリスタル製レンズカバー、True Toneフラッシュ、裏面照射型センサー、5枚構成のレンズ、ハイブリッド赤外線フィルタ、露出コントロール、写真の自動HDR、顔検出、自動手ぶれ補正、バーストモード、タイマーモード、写真へのジオタグ添付、Focus Pixelsを使ったオートフォーカス、タップしてフォーカス、パノラマ(最大43メガピクセル)、ローカルトーンマッピング、ノイズリダクション	
	光学式手ぶれ補正	—
ビデオ撮影	1080p HDビデオ撮影(30fpsまたは60fps)、True Toneフラッシュ、手ぶれ補正機能を使ったタイムラプスビデオ、顔検出、3倍ズーム、ビデオへのジオタグ添付、ビデオの撮影中に静止画を撮影、スローモーションビデオ(120fpsまたは240fps)、連続オートフォーカスビデオ、映画レベルの手ぶれ補正	
フェイスタイムカメラ(前面)	1.2メガピクセルの写真、f/2.2の開口部、720p HDビデオ撮影、裏面照射型センサー、露出コントロール、バーストモード、タイマーモード、写真とビデオの自動HDR	
Touch ID	ホームボタンに内蔵された指紋認証センサー	
携帯電話/ワイヤレス通信方式	GSM/EDGE、UMTS/HSPA+、DC-HSDPA、CDMA EV-DO Rev. AおよびRev. B(CDMAモデルのみ)、4G LTE、VoLTE、802.11a/b/g/n/ac、Bluetooth 4.2、NFC	
位置情報	GPSおよびGLONASS	

※ iPhoneの価格は2016年5月現在のApple Storeでの価格です。

iPhone Fan Special

iPhone入門マイナビムック& 使いこなしガイド

iPhone 6s/6s Plus
iPhone SE
iPhone 6/6 Plus対応

au **docomo** **SoftBank**

iPhone
使いこなせて
ますか？



C O N T E N T S

iPhone Fan Special

iPhone入門 & 使いこなしガイド

iPhone 6s/6s Plus・iPhone SE・iPhone 6/6 Plus 対応

Chapter 1

はじめてiPhoneを手にしたら 005

iPhoneについて知っておこう	006
タップ操作の種類を理解しよう	008
ホーム画面の基本操作を覚えよう	010
iPhoneの画面ロックを解除しよう	014
iPhoneの本体機能を理解しよう	016
Apple IDを取得しておこう	018
POINT ▶ アドレス帳のデータをiPhoneに移行するには	020

Chapter 2

iPhoneの基本操作をマスターしよう ... 021

通知センターを使いこなそう	022
コントロールセンターを使いこなそう	024
iPhoneで文字を入力しよう	026
音声で文字を入力しよう	029
検索機能を活用しよう	030
iPhoneで電話をかけよう	032
着信時に通話できない場合は?	034
着信音や壁紙を変更しよう	036
サイレントモードとバイブレーションを設定しよう	038
Wi-Fiに接続しよう	040
iPhoneを充電しよう	042



Chapter 3

メールやインターネットを活用しよう 043

クラウドサービス「iCloud」を活用しよう	044
メッセージ・メールの基本をおさえよう	048
「メッセージ」でSMSを使おう.....	050
「メッセージ」でiMessageを使おう	052
iPhoneでパソコンのメールを使おう	054
iPhoneでメールを送受信しよう	056
iPhoneでWebサイトを見よう	060
Webサイトをブックマークに登録しよう	062
「Safari」をもっと便利に使いこなそう	064
POINT ▶ 「インターネット共有」を使ってテザリングしてみよう	068

Chapter 4

iPhoneをより便利に楽しく使いこなそう ... 069

App Storeでアプリを入手しよう.....	070
iTunes Cardで有料アプリを購入しよう.....	072
もっとiPhoneの機能を使いこなそう	074
Twitterを使ってみよう	076
Facebookを使ってみよう.....	078
LINEを使ってみよう	080
無料で使えるアップルのアプリ	082
「カレンダー」でスケジュールを管理しよう.....	084

「連絡先」で番号やアドレスを管理しよう	086
地図アプリ「マップ」を使いこなそう	088
まだまだある! 便利な標準アプリ	090
音声アシスタント「Siri」を使いこなそう	092
アプリをアップデートしてみよう	093
iPhoneの設定を確認しておこう	094

Chapter **5**

写真・映像・音楽・読書を楽しもう 097

カメラで写真を撮影しよう	098
iPhoneで動画を撮影しよう	102
写真や動画を見よう・編集しよう	104
音楽を購入してiPhoneで聴こう	108
iPhoneで映画観賞しよう	110
「iBooks」で電子書籍を読もう	112
パソコンから音楽や動画を転送しよう	114

Appendix

安心して使うための必須テクニック 117

iPhoneをセットアップするには	118
iPhoneのデータをバックアップしよう	120
iPhoneのセキュリティ対策	122
便利なiPhoneテクニック集	126



Chapter 1

はじめてiPhoneを 手にしたら

iPhoneについて知っておこう → 006

タップ操作の種類を理解しよう → 008

ホーム画面の基本操作を覚えよう → 010

iPhoneの画面ロックを解除しよう → 014

iPhoneの本体機能を理解しよう → 016

Apple IDを取得しておこう → 018

[POINT]アドレス帳のデータをiPhoneに移行するには → 020



iPhoneについて知っておこう

現行iPhoneには6sと6シリーズで画面サイズの異なる4機種、SEと呼ばれる少し小さめの1機種があります。基本仕様は微妙に異なっています。

for 6s for 6s Plus for SE for 6 for 6 Plus

iPhone 6s/6・6s Plus/6 Plus・SEの外観と各部名称

現在、iPhoneは6sシリーズと6シリーズでそれぞれ4.7インチ(6s/6)と5.5インチ(6s Plus/6 Plus)の液晶の4機種と、SEと呼ばれる4インチ液晶の1機種があります。6sと6シリーズが丸みを帯びたデザインに対して、SEはコンパクトでシャープなデザイン。ボタンの配置や一部機能に

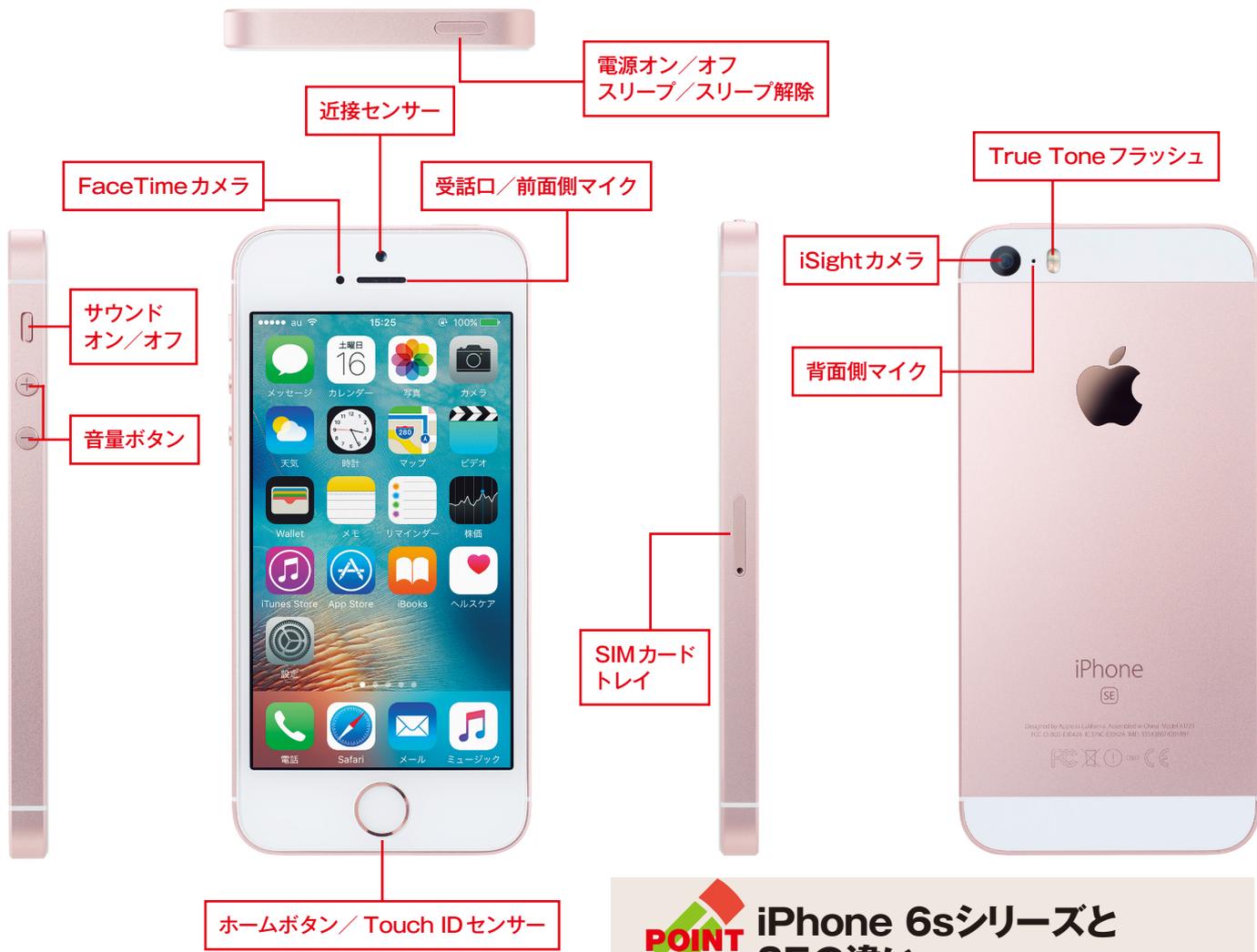
差がありますが、処理能力などは6sシリーズとほぼ変わりません。容量は6シリーズとSEが16GB、64GB、6sシリーズはさらに128GBがあります。カラーは6シリーズがシルバー、スペースグレイ、6sシリーズとSEはシルバー、スペースグレイ、ゴールド、ローズゴールドが選べます。

● iPhone 6s/6・6s Plus/6 Plus



※写真はiPhone 6sです。

● iPhone SE



POINT iPhone 6sシリーズとSEの違い

iPhone 6sシリーズとiPhone SEはメインプロセッサは同じものを使っており、処理能力に違いはありません。しかし画面サイズやデザインがそれぞれ異なります。また、カメラ性能は6s Plusのみ光学手ぶれ補正が搭載されており、コンデジ並みの綺麗な写真を撮影できます。もうひとつ大きな違いとして、液晶画面を長押しして利用する3D Touchへの対応が6sシリーズのみになっています。

POINT iPhoneの付属品

iPhoneの付属品は共通です。付属の「Apple EarPods with Remote and Mic」は、音量調節やマイクの機能を備えたイヤフォンです。SIM取り出しツールは本体側面のSIMカードトレイを開ける際に使います。

- ① パッケージボックス、② 説明書など、③ iPhone本体、④ Apple EarPods with Remote and Mic、⑤ Apple USB電源アダプタ、⑥ Lightning - USBケーブル、⑦ SIM取り出しツール



タッチ操作の種類を理解しよう

iPhoneの操作は、そのほとんどを画面に触れて行います。
タッチ操作にはさまざまな指の動かし方があります。

for 6s for 6s Plus for SE for 6 for 6 Plus

画面上を指で軽くたたく「タップ」

① 「タップ」でアプリを起動

画面上を指先で軽くたたくように1回だけ触れる操作を「タップ」といいます。タップはiPhoneでもっともよく使う操作で、主にアプリの起動、文字の入力、項目の選択といった場面に用います。



アイコンをタップして起動

② 2回連続タップの「ダブルタップ」

画面の同じ場所を2回続けてすばやくタップする操作を「ダブルタップ」といいます。これは主に画面の拡大に用いる操作で、たとえばWebページや写真の閲覧中に部分拡大を行いたいときに使います。



ダブルタップ



部分拡大された

画面で指をすべらせる「スワイプ」

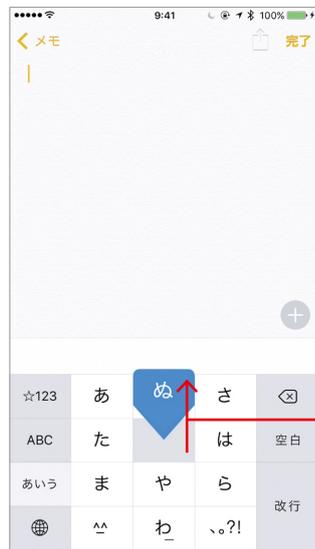
画面に置いた指を任意の方向にすべらせる操作を「スワイプ」といい、たとえば写真の閲覧時に、表示する写真を切り替えたいときなどに使います。なお、iPhoneのロック画面などに「スライド」と表示されることがありますが、これもスワイプと同じ操作です。



スワイプで写真を切り替え

画面を指ではじく「フリック」

スワイプよりも勢いを付けて、おはじきのように画面上を指ではじく操作を「フリック」といいます。これは、テンキーキーボードでの文字入力（フリック入力）などに用います。また、一部のゲームアプリでは、フリックの強弱を加減しながら遊ぶものもあります。



フリックで文字をすばやく入力

同じところを触れ続ける「ロングタッチ」

画面上の一点を指で長く押さえ続ける操作を「ロングタッチ」といいます。これは、たとえばWebページ上の文章から一部を範囲選択するときなどに用います。



指を置いたまま動かす「ドラッグ」

画面から指を離さず、そのまま任意の方向に動かす操作を「ドラッグ」といいます。ドラッグは、画面上のアイテムを引きずって動かすときに用います。



液晶画面を強く押す「3D Touch」 for 6s for 6s Plus

6sシリーズには液晶画面を「強く押す」ことで操作する「3D Touch」に対応しています。ロック画面を強く押して壁紙の写真を動かすことができたり、アプリのアイコンを強く押してメニューを表示して操作する「クイックアクション」が利用できます。



POINT ホームボタンをダブルタップで「スワイプジェスチャー」

iPhone 6sと6シリーズは画面サイズが大きいので、片手で持って操作するとき、親指が画面の上部まで届かず、操作しにくいという難点があります。そこでiPhoneのホームボタンをダブルタップする（ボタンを押し込まずに軽く2回触れる）と、画面が親指側に引き寄せられるようになり、そのまま操作できます。これが「スワイプジェスチャー」です。ホームボタンをもう一度ダブルタップすると、元の画面に戻ります。



ホーム画面の基本操作を覚えよう

iPhoneであらゆる操作の起点となるのが「ホーム画面」です。
このホーム画面の使い方をマスターしておきましょう。

for 6s for 6s Plus for SE for 6 for 6 Plus

ホーム画面の構成と役割を理解する

① ホーム画面はこうなっている

ホーム画面に整然と並んでいる「アイコン」は、個別のアプリを起動するときに使います。ホーム画面の最上部を「ステータスバー」といって、現在の通信状況やバッテリーの残量など

が一目でわかります。また、「電話」や「メール」などのアイコンが並ぶ最下部の部分は「Dock」と呼びます。

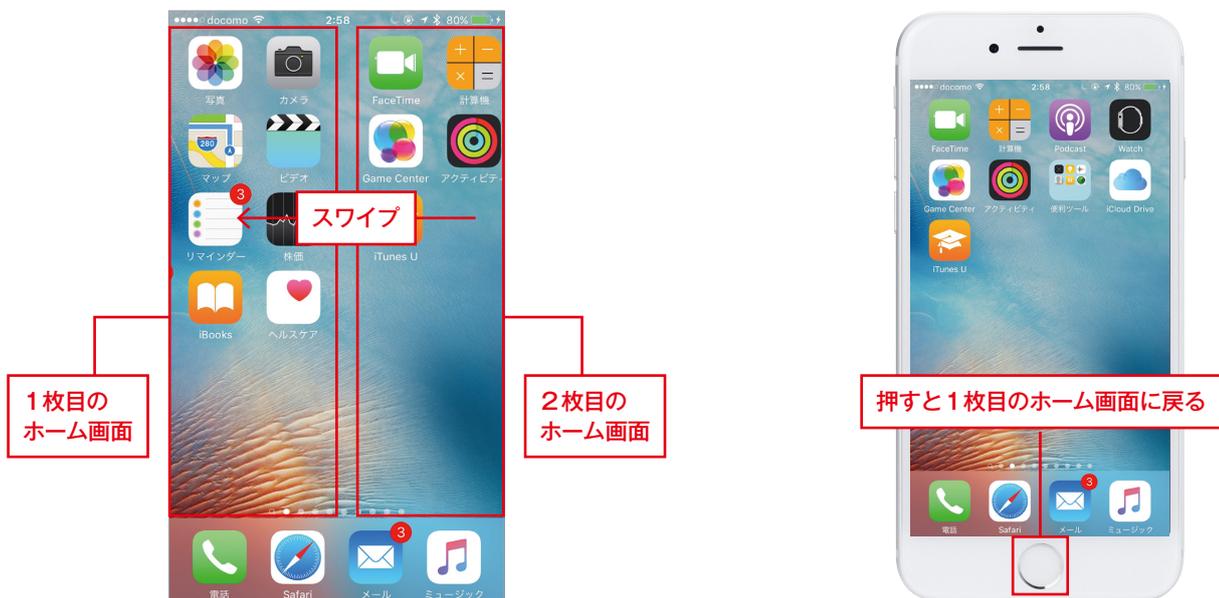


② ホーム画面を移動する

ホーム画面は複数の画面で構成されていて、ホーム画面上を左にスワイプすると次の画面に切り替わります。なお、ホーム画面を移動させても、ステータスバーとDockは常に変わらず表示されます。

③ 1枚目のホーム画面に一発で戻るには

iPhone購入時のホーム画面は2枚ですが、今後、自分でアプリを追加するにつれて、ホーム画面は3枚、4枚と増えていきます。どのホーム画面を表示している状態でも、ホームボタンを1回押せば、1枚目のホーム画面に即座に戻ることができます。



アプリを起動する／切り替える

① アイコンをタップ

任意のアプリを使いたいときは、ホーム画面にあるアイコンをタップします(ここでは「天気」)。



② アプリが起動した

タップしたアイコンのアプリが起動しました。アプリが起動している状態でホームボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。



③ 起動中のアプリを切り替える

ホームボタンを押してホーム画面に戻っても、前に起動したアプリは終了せず、裏で動き続けています(マルチタスキング)。すでに起動済みの別アプリに切り替えたいときは、まずホームボタンを2回続けてすばやく押しましょう。



④ 表示するアプリ画面を選択

マルチタスキングで動作中のアプリが縮小画面で表示されます。左右にスワイプし、表示したいアプリをタップすれば、そのアプリで中断したところから続けて作業できます。



クイックアクションを利用する

for 6s

for 6s Plus

クイックアクションに対応したアプリのアイコンを強く押すとメニューが表示され、選択してすぐその機能を利用できます。



POINT

アプリを完全に終了させるには

パソコンと違い、iPhoneでは個別のアプリをいちいち終了させる必要はありませんが、マルチタスキングでたくさんのアプリを起動したままにしておくと、iPhoneのメモリを無駄に占有し続けてしまいます。この状態でさらに別のアプリを起動しようとする、メモリ不足の警告が出たり、動作が不安定になることもあります。そのようなときは、右の手順でアプリを完全に終了させます。

すばやく
2回押す終了させるアプリを
上方向にスワイプ



試し読みはお楽しみ
いただけましたか？

ここからはManatee
おすすめの商品を
ご紹介します。

Manatee Tech Book Zone 

おすすめ
電子書籍

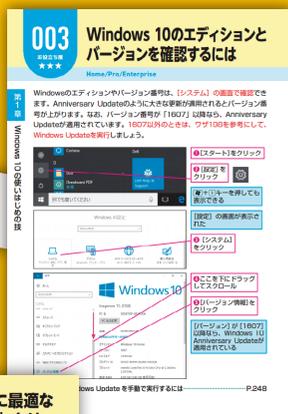
1

2

「Windows・Mac・スマートフォン」

Windows 10のトラブル解決&活用ワザが満載!

本書は、目的別に213個のワザでWindows 10の便利な機能と新機能を解説。同OS最大の特徴である[スタート]メニュー、[設定]画面、Microsoftアカウントの使い方がよく分かります。通読すればWindows 10の機能が身に付くこと間違いありません。「Microsoft Edge」「指紋認証」「Cortana」「Windows Inkワークスペース」といった新機能もしっかりフォロー。使っていて遭遇しがちなトラブルも対応方法を紹介しています。



各テクニックはお役立ち度でランク付け。目的や知りたことからワザを探せる



初めてWindows 10を使う方、Windows 10を使い始めた方に おすすめ!

すぐに効くテクニックが満載! MacBookを便利に使いこなせる

「MacBook」「MacBook Air」「MacBook Pro」の使い方がキホンからわかる解説書です。macOS Sierra(シエラ)をサポートしています。最新のMacBook Proに対応しており、気になるTouch Barの使い方をしっかり掲載しました。さらに iCloudの仕組み、iPhoneとのデータやり取り、写真や動画の管理、ビジネスでの活用法など、MacBookをより便利に使いこなせる内容になっています。MacBookを使いこなすのに最適な1冊です。



MacBookの特徴や、基本的な使い方から解説。はじめてMacに触れる方も理解できる



WindowsからMacに移行したばかりのユーザーが戸惑う操作もしっかりフォロー

できるポケット Windows 10 困った! & 便利技 213 改訂 2版

インプレス 広野忠敏・できるシリーズ編集部(著者) 272ページ 価格: 853円(PDF)



MacBook マスターブック macOS Sierra 対応版

マイナビ出版 松山茂・矢橋司(著者) 320ページ 価格: 1,922円(PDF)



Mac

Windows 10 の基本 & 応用!
使いこなすための一冊



3 Windows 10の
基本から応用までを
1冊に凝縮!!

ふだんの仕事で役に立つ
ショートカットキー 280 個



4 280の時間短縮で仕事はかかどる!

正確さと速さを両立した
タイピングを身に付ける



5 キー入力が
みるみる速くなる

&

&

Windows 10 使いこなしガイド
Anniversary Update 対応

本書では、Windows 10 の基本操作からもっと便利な Windows 10 の使いこなし方まで網羅。ワンランク上の知識が身に付くコラムも満載です。Windows 10 を使う際に覚えておきたい知識やテクニックを幅広く紹介しています。

マイナビ出版
朝岳健二 (著者)
128 ページ 価格: 953 円 (PDF)

できるポケット
一瞬で差がつく PC 活用術
ショートカットキー全事典

仕事に便利な 280 個のショートカットキーを操作方法とともに解説。利用頻度の「よく使う度」、作業がどれくらい速くなるかの目安「短縮度」、実践的な使い方を紹介する「組み合わせ」など、役立つヒントが満載です。

インプレス 株式会社インサイトイメージ (著者)、
できるシリーズ編集部 (編集)
208 ページ 価格: 972 円 (PDF)

キー入力がみるみる速くなる
タイピング上達の法則

タッチタイピングの習得は、決して難しくありません。本書はよく使うキーから覚えていくため、無理なく正確なキー入力が身に付きます。オリジナルの文例で繰り返し練習すれば、メキメキと上達を実感できるでしょう。

マイナビ出版
朝岳健二 (著者)
96 ページ 価格: 950 円 (PDF)

PowerShell を使いこなして
Windows システムを管理



6 必携書!

macOS Sierra を完全解説
416 ページの大ボリューム



7 最新のmacOSを
完全解説!

大画面 & 高性能カメラの
iPhone 7 Plus を徹底解説



8 便利な詳しい解説書!

&

&

Windows PowerShell
逆引きハンドブック

Microsoft が Windows 用に開発したコマンドライン方式のシェルと、スクリプト実行環境である Windows PowerShell の使い方を逆引き方式で解説。ほぼすべてのコマンドを網羅し、最新のバージョン 5.0 に対応しています。

シーアンドアール研究所
蒲生健男 (著者)
736 ページ 価格: 4,082 円 (PDF)

macOS Sierra
マスターブック

macOS Sierra の新機能、アップグレード機能をはじめ、ほぼすべての機能を網羅した大ボリュームの解説書です。新機能を含むほとんどの機能を、画面写真とステップバイステップの解説でわかりやすく説明しました。

マイナビ出版
小山香織 (著者)
416 ページ 価格: 2,138 円 (PDF)

できるポケット
ドコモの iPhone 7 Plus
基本&活用ワザ 100

通話やインターネットといった基本はもちろん、ドコモメールの設定や電話帳の移行など、ドコモの iPhone 7 Plus の使い方を丁寧に説明。さらに、おすすめのアプリやまめ知識など、iPhone を楽しむヒントが満載です。

インプレス 法林岳之・橋本保・清水理史・白根雅彦・
できるシリーズ編集部 (著者)
288 ページ 価格: 950 円 (書籍)